

甲府ライオンズクラブ

★活動紹介

— 子どもたちに居場所を —

共働きの家庭や、コロナ禍で学業が難しくなった家庭の小中学生を対象に、毎週火曜日に開催されるライオン寺子屋。大学生が講師となり、小中学生が持参した宿題や勉強の手伝いをする。平均では参加指導学生2名、参加生徒3～6名程度であり、大学生が子どもたちの様子を見ながら勉強を教えている。最初は山梨大学と都留文科大学の学生の協力でスタートし、今では山梨県立大学の学生も参加するようになった。



2020年からのコロナ禍で、「学業ができなくなる子どもがいるのではないか」と危惧した甲府ライオンズクラブのメンバーによって大学生が講師をする「有償ボランティア」を開始した。当初は学習の場の提供を目的としていたが、現在では子どもたちの「居場所づくり」に貢献しているとの自負を持っている。

2022年には、遊亀公園でのバックヤード飼育員体験や、甲府駅周辺のおもてなし清掃活動なども行った。甲府ライオンズクラブのメンバーは、このような機会を通して子どもたちが大人になり、地元を盛り上げる一員にもなってくれるのではないかと期待している。

「上手に人に助けを求め、色々な大人を踏み台として、自分たちらしく成長してほしい」

取材に応じてくださった甲府ライオンズクラブメンバーの方はこうおっしゃっていました。まずは、お子様の居場所を一つでも増やすため、お気軽に、あまり構えずに問い合わせをしてみたいはいかがでしょうか。

◀ 甲府駅周辺おもてなし清掃活動の様子



— Q&A —

Q：何をしている団体なのですか？

A：地域のために奉仕活動を行う団体です。毎週火曜日に甲府市役所西庁舎の教室を利用して、子どもたちの居場所づくりを行っており、小中学生が自由に持参した宿題等の勉強をします。教室は16時から使用できるため、自習が可能です。有志の大学生が17時頃から集まり、勉強で分からないところをお手伝いしてくれます。

Q：どのくらいの方が参加しているのですか？

A：一回の寺子屋では、子どもが3～6名、指導する大学生2名、ライオンズクラブメンバー2名程度です。子どもと大学生はそれぞれ空いている時間に来るので毎回人数が違います。

Q：いつから寺子屋をやっているのですか？

A：2020年11月頃から実施しています。コロナ禍で学校に行けなかったり、一人での学習が難しくなったりしてしまった子を対象にスタートしました。一緒に勉強する友達や教えてくれる仲間が増えていくと嬉しいです。

Q：勉強以外に何かしますか？

A：普通の寺子屋では、一緒に勉強するだけでなく、その日の人数や状況によっては、残り時間でレクリエーションをすることがあります。ボードゲームやトランプなどを通して、会話のきっかけ作りやリフレッシュの機会を作り、誰でも自然体で参加できる環境づくりに努めています。

フリガナ	コウフライオンズクラブ
団体名	甲府ライオンズクラブ
活動概要	甲府ライオンズクラブが実施している、小中学生を対象とした寺子屋。お子様の居場所の一つとしてお気軽にご利用してみたいはいかがでしょうか。大学生が講師となり、子どもたちの学習をお手伝いします。
事務所	〒400-0032 甲府市中央1丁目12-37
主な活動場所	甲府市役所西庁舎（甲府市宝2丁目8-19）
活動日時	毎週火曜日 17：00～20：00
対象	甲府市内の小中学生及び勤務先・祖父母の家が甲府市内にあるご家庭。 小学生は送り迎え必須。
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	055-221-0808



▲詳しくはこちら

こどもサポートやまなし ★活動紹介

— 塾に行けない子どものための学習会 —

学習会は、月に2回の開催のため、すぐには学力の向上には繋がらないかもしれないが、出来る嬉しさ、わかる喜びを感じながら、学習習慣を身につけて欲しいと願いながら活動をしている。
筆者も実際に参加させていただいたが、一人一人を受け入れ、迎え入れる姿勢というところがこのこどもサポートやまなしの魅力であると強く感じた。

— 学習会であり、子どもたちの居場所 —

学習会であり、あくまで塾ではない。実際に参加させてもらおうと、子どもたちが歳の近い友達と勉強だけでなく、お話や遊びを通じて楽しそうに時間を過ごしていた。お話を伺ったこどもサポートやまなしの今井さんは「一つの居場所として、自分がしたいことをして、勉強で分からないところが少しでもわかるようになると嬉しい」という。多くの子どもたちが来て、楽しそうにしているのは、子どもたちにとっての大切な“居場所”になっているからであろう。

— こどもサポートやまなしからのメッセージ —

学習会に気軽に見学に来てください。
各地に、様々な団体・個人で子どもたちのための学習会や居場所が作られてきました。
一人一人の子どもに合った学習の場、居場所に出会えると良いと思います。



— Q&A —

Q：学習会には何名の生徒が参加していますか？

A：学習会には小学生と中学生合わせて14～15人前後が参加しており、さまざまな国籍の生徒もいます。

Q：学習会はいつどこで開催していますか？

A：毎月第2、第4日曜日の2回、13時30分頃から甲府市の山梨カトリックセンターで、開催しています。

Q：参加したいのですが、飛び込みで行っても大丈夫ですか？

A：飛び込みの参加でも大丈夫ですが、こどもサポートやまなし055-287-8211へ事前にご連絡をいただくとスムーズです。

Q：料金はかかりますか？

A：料金はかかりません。

フ リ ガ ナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン コドモサポートヤマナシ
団 体 名	特定非営利活動法人 こどもサポートやまなし
活 動 概 要	一番小さく弱い立場にあり、そして私たちの宝であるのが子どもたちです。その一人一人が国籍や家庭環境に関係なく、夢と希望を持って生活することができるように、子どもとその家庭に寄り添いながら学習会や相談会などの多岐に渡る支援活動を行っています。
代 事 務 所	名執 義高 〒400-0034 甲府市宝2丁目1-5
学 習 会	〒400-0836 甲府市小瀬町654 山梨カトリック福祉センター
活 動 日 時	第2・第4日曜日 13:30～16:00
連 絡 先 (電話・FAX・メール)、 H P 等	055-287-8211



▲詳しくはこちら

甲州無料塾ココロ ★活動紹介

— 無料塾だからできること —

甲州無料塾ココロにいる講師はみなボランティアである。ボランティアだからこその塾とは違い、縦の関係なくして対等な助っ人として親身に子どもと向き合うことができる。そしてそのような関係こそが真に子どもの「学びたい」という好奇心を満たす環境をつくるのである。



代表 西田 隆男さん

「バカなんじゃない、能力を育てる方法がある」

— メンタルトレーニングで勉強を楽しく! —

今の子どもたちの中には、学習意欲が形成されていない子もいる。甲州無料塾ココロでは、子どもたち自身が自ら学びたいと思うような、潜在能力を開発するための心理技法としてメンタルトレーニングを実施している。心と体のバランスを整えることで、集中力向上、精神的安定、潜在能力の開発を図る。実際に射撃をやっていた生徒さんは、毎週のメンタルトレーニングで心を強化し、大会で好成績を納めたそう。その生徒さんは実力と推薦で希望する大学へ進学された。スポーツだけでなく勉強も、精神を強化することで集中力を身に付け、能力を向上させることができる。「やる気が出て、学習を楽しみと思える学び方を知っていきましょう!」と西田さんは語る。

併せて、甲州無料塾ココロでは保護者のための無料相談教室も開いている。児童期・思春期の子どもの教育、発達のことや心の健康のことなど、気になることがあれば、気軽に利用することができる。

— 今後の展望 —

今後、実施したいことを伺うと、特別授業や体育、音楽などの実技科目に触れる学習も無料で行いたいという。山梨にも大勢いる、エンジニアやアーティストなど高度な経験をお持ちの方は、未来ある子どもたちにその知識や経験を教えたいとこの活動に好意的な方が多いそうだ。このようなプロがあえて無料で講義することに意義があり、ここから子どもたちに多くを学んでほしいと西田さんは願う。

また、子ども食堂や他の取り組みをしている団体と協力し、「子どもたちのサードプレイス」を創りたいという。そしてゆくゆくは、地域のつながりでまちづくりを活性化することを目指す。

最後に、地域の皆様へ「地域で協力してサードプレイスをつくりましょう!!」

— Q&A —

Q: 授業スタイルはどのような感じですか?

A: 「わからないところがわからない」という生徒には、サブテキストを一度解いてもらい、わからないところを発見するところから行きます。少人数教育なので、一人一人丁寧に教えることができます。

Q: テキストなどは購入しますか?

A: テキストの購入はありません。各自教材やテキストをお持ちいただき、それを使って学習を進めていきます。

Q: 入会手続きや予約は必要ですか?

A: いいえ。必要ありません。自分の好きな時に来て勉強する形式です。お休みの連絡等もしなくて大丈夫です。

Q: どれくらいの児童、生徒が通っていますか?

A: 現在は、1日2~3人程度です。コロナ禍で生徒さんが減ってしまいましたが、コロナ前は多くて10人程の生徒さんが通っていました。

Q: 誰が講師をしていますか?

A: 私（西田さん）の他、大学生の講師ボランティアが教えてくれる場合もあります。講師ボランティアも募集していますので、ご興味のある方はご連絡ください。

フリガナ	コウシュウムリョウジユクココロ
団体名	甲州無料塾ココロ
活動概要	甲州無料塾ココロは、経済的理由などで学習塾や家庭教師を利用できないが、学習支援を受けたい子どもたちのための学習塾です。学校の予習や復習だけでなく、受験勉強などの自主的な学習にも利用可能です。また、不登校の生徒の補習や、高校を中退して高卒認定試験を受けたい人の学習支援もしています。自主的に勉強したい子どもたちに安全で安心な学習の場を提供し、そのお手伝いをするを目標としています。
代表活動場所	西田 隆男(公認心理師) 主に甲府市役所西庁舎(甲府市宝2丁目8-19)
活動日時	毎週金曜日 18:00~20:00
連絡先(電話・FAX・メール)、HP	kousyumuryojuku@gmail.com



▲詳しくはこちら

甲斐ゼミナール

★活動紹介

— 学習塾だけじゃない！甲斐ゼミナール —

「甲斐ゼミナール」と聞くと地域の学習塾という印象があるが、実は2019年から学習塾に通うことのできない子どもや不登校となってしまう子どもたちの居場所を提供する無料塾やフリースクールなどの活動も行っている。また、不登校フォーラムでは両親にも不登校への理解を深めてもらい、不登校改善の見通しを知ってもらうことを1つの目的として開催している。

このような活動を行う中で、どうしても営利目的で活動しているのではないかと声を受け取ることがあったという。1企業として活動を行っていくことに苦労したと語るのが、校長である長田正樹さんだ。自身も不登校を経験した子どもの親という立場から、不登校に関する活動に対して熱心に取り組んでいる。不登校フォーラムでは他団体との協働を図ってこれらの困難を乗り越えようとしている。

こうした活動の中で、参加者からの来てよかったという「生の声」はなによりの喜びだそう。実際に参加者はリピーターが多くの割合を占めており、「世の中の役に立って企業活動ができる」ということを社員も誇りを持つことができるような企業でありたいと語っていた。コロナ禍によって、無料塾やフォーラムがストップしてしまっただけでなく、不登校の子どもが増加や入学式がなかった新入生たちの心の陰りを誘発してしまっているという。このような状況の子どもたちにフリースクール等を利用してもらいたいのだが、参加した子どもの中には塾のフリースクールでは勉強をしなくてはならないと勘違いをして、自らハードルを上げて頑張りすぎてしまう。その結果、家から出られなくなる生徒もいるとのことだ。

— 「学校へ行く前の出口」 —

フリースクール、無料塾を利用する子どもたちにはぜひ、エネルギーがたまるまでリラクセスをして、不登校の出口としてこの塾を活用してほしい。子どもたちには幸せな大人になってほしいと切に願っている。私たちは、学校のできないことをして、学校と家庭とのすき間を埋めたいと校長の長田さんは語った。

— Q&A —

Q：どんな活動を行っていますか？

A：学習塾だけでなく、無料塾・フリースクール・不登校フォーラムなどの活動を行っています。

Q：無料塾やフリースクールでの授業スタイルはどんな感じですか？

A：生徒一人一人に寄り添った授業スタイルです。

Q：心掛けていることは何ですか？

A：プライバシーの保護を徹底しています。



フリガナ	カイゼミナール
団体名	甲斐ゼミナール
活動概要	甲斐ゼミナールは山梨県を中心に展開している学習塾です。1974年創業という長い歴史を持ちつつ、2019年からは小学生から高校生までの子どもたちを対象として、学習塾に通うことのできない子どもや不登校となってしまう子どもたちに対して居場所を提供するという、無料塾・フリースクール・不登校フォーラムなどの活動を行っています。
代表者	長田 正樹
活動場所	〒400-0016 甲府市武田1丁目2-19 (甲斐ゼミナール本部)
活動日時	不定期 無料塾は3か月に1度、フリースクールは週に2回開校
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	055-251-6009 (北口本部教室)



▲詳しくはこちら

— 平均を目指す子への学習塾 —

通塾のためにかかる費用は月々の月謝のみで、入会費や管理費等は一切かからない。家庭の事情によって生活が苦しい方や、学力が思うように伸びないといった方に向けて「平均を目指す子どもたちのための集団学習塾」として6年前に設立された。特に、学習の基本的な部分を徹底することを意識している。

— 勉強以外の姿勢も身につけるための場 —

桜花塾が大切にしていることは勉強を通じて子どもたちの未来を切り開くことであるが、松本さんは生徒に対して「勉強が楽しい」と言ったことは一度もないという。実際に勉強が楽しいと思えるのは、勉強が出来るようになり、成長を実感することが出来てからというのがほとんどだそうだ。少しでも苦手を克服してもらうべく5教科全ての講義を受講できるが、時間がかかる英語や数学に特に力を入れている。また、この桜花塾は、勉強だけを学ぶ場所ではない。少人数の塾である利点を生かし、一人一人の生徒たちに対して勉強以外のことにも親身に相談に乗ってくれる。また、勉強以外の挨拶や遅刻をしないなどの、生きていく上で大切なことも生徒に対してしっかりと伝えている。

— 松本さんからのメッセージ —

勉強は苦しいとは思いますが、一緒に乗り越えてこれからの未来を切り開いていきましょう。気軽に見学に来てください。お問い合わせもお待ちしています。



— Q&A —

Q：受講料はいくらですか？

A：1ヶ月あたりの受講料 小学生 週2回 7,000円（税込） 中学生 週3回 17,000円（税込）

※所得税や市民税等がかかっていない学習塾に通うことが困難な家庭の生徒は無料で受講が可能とのことです。詳しくは松本代表TEL090-9383-5049まで電話でお問い合わせください。

Q：テキストは別途購入しますか？

A：いいえ。学校で使っている教科書を使用するので、心配はいりません。

Q：どのくらいの生徒が通っていますか？

A：コロナ禍によって減ってしまいましたが、現在は約10名ほどの生徒が通っています。

Q：講師は松本さんだけですか？

A：令和5年3月末現在、松本代表一人です。しかし、塾を卒業した卒業生がたまに顔を出してくれて、後輩に勉強を教えたり他愛もない話をすることもあります。生徒一人一人に質問するなどして、生徒からも声上がる活発な授業を行っています。

フリガナ	オウカジユク
団体名	桜花塾
活動概要	桜花塾は甲府市の幸町にある、松本望さんが運営する学習塾です。経済的な理由で思うように学習塾に通えない生徒や、学力があまり伸びないという課題を抱えている生徒が通いやすいようにという思いで創設されました。
代表活動場所	松本 望 〒400-0857 甲府市幸町9-20
電話受付時間	14:00~22:00
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	090-9383-5049

にじいろのわ ★活動紹介

— 「すぐに」「安心して」支援を受けられる環境を —

にじいろのわの食支援では、迅速かつ安心できる支援を意識している。一般的なフードバンクでは、日持ちの良いインスタント食品やレトルト食品が多く集められる。しかし、支援物資がそのような食品ばかりでは体に悪影響をもたらす。どんなに困窮していても、新鮮な肉や野菜を食べてもらい健康な生活を送ってほしい、という願いから、にじいろのわでは、企業や個人、地域住民からいただいた高鮮度な食材を拠点の冷蔵庫に保存しグループLINEで共有、ほしい人の手元にすぐに行き渡るような仕組みで動いている。



— 「困ったときはお互い様」 —

にじいろのわで活動していると、支援を受ける多くの保護者から、感謝の言葉とともに「申し訳ない」という言葉を聞くそうだ。にじいろのわでは、「困ったときはお互い様」の相互扶助の心で活動に取り組んでいる。「様々な活動を通して、広いつながりが生まれ、困ったときにお互いが助け合える関係づくりをしたい」と、土屋さんは語る。



— 今後の展望 —

新型コロナウイルスの拡大が落ち着いてきたら、今取り組んでいる活動の継続はもちろん、良い意味で、安心して「子離れ・親離れ」できる機会を提供していきたいと土屋さんはおっしゃっていた。昨年冬に行われた「こども会議」は、学生スタッフと子どもたちだけの会議で、普段親には言えないこどもの心の声を聞ける場になっている。「この声を今後の活動に反映させることが大事だ」と、土屋さんは語る。



また、日常の楽しさを思い出してもらうことを目的としたメイク講習など、にじいろのわは、食支援や体験型活動から、信頼関係をはぐくみ、安心して助け合えるあたたかい地域づくりを目指している。

— Q&A —

Q：どのような活動をしていますか？

A：子ども食堂／地域食堂／フードパントリー／100円お弁当販売
防災こども食堂／体験型活動／にじいろファーム活動 等
食支援活動を中心に活動しています。
また、子どもたちの「やりたい」を叶える体験型活動にも取り組んでいます。

Q：支援を受けたいのですが、どうやって参加したら良いですか？

A：にじいろのわのLINEグループにて活動情報をアナウンスしています。
参加人数やお名前などの情報を連絡し、エントリーしていただく形です。
グループ内の情報漏れ等には厳しく取り締まっているので、ご安心ください。
LINEグループについては、代表の土屋にお問い合わせください。

Q：活動はどのくらいの頻度で行っていますか？

A：月に1回、週に1回など、食支援団体によって異なりますが、定期的に行っています。

Q：どのように支援食品が集まるのですか？

A：企業や協会の方々だけでなく、個人・地域の皆様から食料やお弁当などを頂いています。

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン ニジイロノワ
団体名	特定非営利活動法人 にじいろのわ
活動概要	子ども食堂や地域食堂の活動を通し、ハンディキャップや年齢の枠を超え誰もが社会で活動できるステージ作りや個々の役割を見出し、お互いで支え合うネットワークを作り、団体や仲間同士の支援などをグループ理念に置きながら活動しています。
代表	土屋 茂
活動場所	〒400-0867 甲府市青沼3丁目5-44 甲府市総合市民会館なないろカフェ内
連絡先、等 (電話・FAX・メール) HP	055-226-2969 080-5039-9979 (担当 土屋) 090-8314-2797 (担当 内藤) nijiirownwayamanashi@outlook.jp



▲詳しくはこちら

— 食育を通じて寺をより身近なものに —

世の子ども食堂は、貧困層を対象としたものが多いため、子ども食堂に行っている子どもは貧困であるという世の中の偏見の目がある。その偏見の目を少しでもなくすこと、そして、夫婦共働きにより孤食となってしまうことで経済的に貧困でなくても、精神的な貧困に直面する子どもたちに大勢でご飯を食べる楽しさ、「いただきます」、「ごちそうさま」といった日本の食事マナーを教える食育の場を作りたいという思いから寺GO飯は生まれた。



— 「寺子屋」の本来あるべき姿とは —

世に存在する寺子屋の中には「寺」という名前がついているだけで実際には寺とは関係がほとんどないという団体がある。それを顧みて、寺GO飯では実際に寺と連携し、お経や坐禅といった寺ならではの体験と、食育を結びつけることで、名ばかりの寺子屋にならないような活動を目指している。

— 参加する方たちへの想い —

参加する子どもたちに、食に対して「嫌いなものは食べない・残しても平気」というような意識を持つのではなく、食べ物一つにも多くの人の手がかかっており、その苦労があって初めて自分たちのものに運ばれてくること、命をいただいていることを教えたい、そして感謝のできる子になってもらいたい。また、コロナウイルスの流行によって、ゲームやネットが遊びの中心になってしまった子どもたちに、同じ年代や大学生との交流を通じて身体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらい、人付き合いの好きな子になってもらいたい。

ふだん、家事育児に追われて一息つける暇もない保護者の方にも参加してもらって、お子さんが元気に遊んでいる間に親同士でお茶をしながら雑談を楽しんでもらえる憩いの場のような会場づくりを目指している。また、親子ともに、ストレスを発散できる場になってほしいと強く思う。

— 今後の展望 —

現在、子どもや大学生ボランティア、保護者しか参加者がいないため、今後は地域のおじいさん、おばあさんたちにも参加してもらい、子どもたちが昔ながらの遊びに触れる機会や、子育てに悩みを持つ保護者の相談の場を作れたらよいと浅野さんは語る。もし実現することができれば、世代を越えた活発な活動の場になることは間違いない。少しでも興味を持った方は寺GO飯の活動に参加して人とつながる楽しさを体験してみてください。

— Q&A —

Q: どのくらいの頻度で開催されていますか?

A: 月1回、第3水曜日を目標に開催しています。

Q: どんなひとが参加していますか?

A: 幼稚園～小学校高学年くらいまでの子どもたちが参加していて、ボランティアとして大学生が参加しています。大人は、寺のお坊さんや保護者の方が参加しています。

Q: どのくらい参加者がいますか?

A: コロナウイルス流行前は40人ほど参加していましたが、最近では30人ほどに人数を制限しています。

Q: 参加するにはどうすればよいですか?

A: メール、またはLINE を送っていただくことで参加できます。参加費ですが、子どもは無料、大人は500円で参加することができます。詳しくはホームページをご覧ください。



フリガナ	イッパンシャダンハウジン ソーシャルテンプルテラゴハンジッコウイインカイ
団体名	一般社団法人 SOCIAL TEMPLE 寺GO飯実行委員会
活動概要	SOCIAL TEMPLE 寺GO飯では、身近な場所であるお寺を会場に、お経や坐禅、法話の体験をした後、プロの料理人がつくる美味しいごはんをみんなで食べることで人との交流の大切さ、食事の楽しさやマナーを子どもたちに伝える活動をしています。寺GO飯では、お寺を舞台として、こどもから青年、大人のそれぞれがほっと一息つけるような交流の場を提供することで、仏教やお寺を身近に感じてもらうことを目的としています。
実行委員長	浅野 文俊
活動場所	〒400-0014 甲府市古府中町3472
活動日時	月1回第3水曜日 17:30～20:00 (17:00受付開始)
連絡先 (電話・FAX・メール)、HP	090-4662-9253



▲詳しくはこちら

Maple tree

★活動紹介

— 経緯 —

小学五年生の時、両親が行っていた食品配布の手伝いをはじめた小池さん。その手伝いを機に、自ら活動を行いたいと考えるようになる。そして、友人とボランティア団体を立ち上げた。食糧支援やミルクボランティア、両親のロボット教室の手伝いなどの様々な活動を経て、今は学習支援会に重きを置いて活動している。



— つながり大切に —

ボランティア隊として集まった小中学生が先生となり、主に夏休み等、学校がお休みの期間に開催されている学習支援会。主に小学生を対象に開かれており、参加者・ボランティア隊共に楽しみながら活動を行っている姿が印象的だ。

「活動を通して、子どもたち同士のつながりを増やしていきたい」
そう述べていた小池さん。この言葉には、困っている人を助けてあげられる人が少しでも増えてほしいという思いが込められている。人とのつながりが増え、交流の輪が広がることにより、今まで気づくことができなかった部分まで目が行き届くようになる。そうして困っている人を見つけたときに自ら手を差し伸べられる人が増えてほしいと述べていた。

— 興味を実行に —

活動を通して小池さんが実感していること、それは、「興味をもって実行することの大切さ」だ。小池さん自身、やりたいと思ったことを実行に移してきたから、今の活動を行うことができる。だからこそ、子どもたちには興味をもったことをとことん実行してほしいと思っている。しかし、子どもが行動する時、保護者の支えが必要になってくる場合が多い。そのため、保護者の方々は子どものやりたいことを受け入れてあげることが必要になってくる。子どもがやりたいことを受け入れ、背中を押してあげることによって、子どもの可能性を広げることができる。そのためにも、子どもがやりたいと思ったことを伸び伸びと実行できる環境をつくってほしいと小池さんは思っている。

Maple treeでは、今後も沢山の子どもたちが交流をもてるような活動を行っていく。そのため、活動の参加者だけでなく、新しい仲間（ボランティア隊）も募集している。人との関わりを増やしたい、何か新しいことに挑戦してみたい、ボランティアをしてみたいと思っている子がいたら、ぜひ一度、訪れてみてほしい！



— Q&A —

Q：事業内容・対象を教えてください。

A：学習支援・食糧支援が主な活動です。小学生や親子を対象に活動を行っています。

Q：運営は誰が行っているのですか？

A：団体を立ち上げた小池楓さんの他、ボランティア隊である小中学生で運営を行っています。

Q：活動頻度はどれくらいですか？

A：学習支援会に関しては、コロナ前は月に一回、コロナ後は不定期で行っています。食糧支援に関しては、コロナの状況次第で再開する予定です。

Q：参加方法を教えてください。

A：電話にて申込受付が出来ます。また、下記のリンクからInstagramにアクセスすることができます。

Q：参加費はいくらですか。

A：参加費はありません。無料で参加できます。



フリガナ	メイプル ツリー
団体名	Maple tree
活動概要	甲府市の中学生が立ち上げた団体です。月に何度か学習支援会を開催し、食糧支援も行っています。小中学生が運営しており、運営側も参加者も共に楽しく活動を行っています。
代表者	小池 楓
活動場所	主に甲府市総合市民会館（甲府市青沼3丁目5-44） 甲府市役所西庁舎（甲府市宝2丁目8-19）
参加対象	主に小中学生
連絡先（電話・FAX・メール）	090-2257-2776 k.k.company@tbz.t-com.ne.jp



▲詳しくはこちら

カフェよりみち ★活動紹介

— 以前のあたたかい地域をもう一度 —

カフェよりみちの創設者である小田切律子さんは、地域食堂のあるこの場所（甲府）で生まれ、地域の人たちに育てられた。以前の地域は、親が帰ってくるまで地域の人の家で待たせてもらったり、道端ですれ違った人に気軽に挨拶をしたり、今よりも人と人のつながりが深かったという。「しかし、その様子がなくなってしまい、人と人の交流が少なくなってしまった。」また、人だけではなく、お店など目に見えるものも変わったと言っていた。様々なお店があったこの地域に閉まりきりの店が増え、買い物も困難な地域になってしまったという。地域が変わった様子を寂しそうに話す小田切さんであったが、昔の温かい地域の姿を知っているからこそ、昔のような、人と人のつながりが深い、温かい雰囲気のある地域を作りたいという思いが芽生えたという。そんな思いを抱え、6年程前に地域食堂を開く。食に本当に困っている人が訪れられるような場所を作るため、当初は無料で食を提供することも考えていた。しかし、子どもたちにもお金の価値観を伝えたい、高齢の方たちにも気軽に来られるようにしてほしいという思いから予算を抑え、任意でお金を払ってもらう形態になっている。食材も、山梨県内の農家や魚屋、お肉屋さんなど繋がりのある人から提供してもらっており、栄養バランスの良いメニューを提供している。



— すべての人にとっての居場所をつくりたい —

「人と人のつながりが減っている今、居場所を求めている人はいっぱいいると思う。だからこそ、ここがみんなにとっての居場所になってほしい」、そう述べていた。今はコロナによって、当たり前な笑顔、当たり前な挨拶、当たり前な交流ができない時代になっている。当たり前にできていたことが特別なことになっているからこそ、人と人が互いに支えあい、困ったときにSOSが出せるような地域づくりをしていきたいと語っていた。「田舎のおばあちゃんちに来る感覚でいつでも気軽に来てください」最後にこんなメッセージを残した小田切さん。子どもからお年寄りまで、障害の有無に関係なくだれもが触れ合える場所を目指している。

— Q&A —

Q：地域食堂の参加費はどれくらいですか？

A：基本的には高校生まで100円、大人は300円です。支払いは任意です。

Q：地域食堂には何人くらいの人が参加しますか？

A：日によってバラバラですが、子どもが数名参加してくれます。コロナ前は30食分ほど用意していましたが、コロナ後は10食分ほどになりました。食堂で食べることもできますが、お弁当の提供をはじめたところ、お弁当を頼む人の割合が増えました。

Q：食材はどのように確保していますか？

A：山梨県内の農家や魚屋、お肉屋さんなどつながりのある人から提供していただいたものを主に使用しています。



フリガナ	カフェヨリミチ
団体名	カフェよりみち
活動概要	誰もが利用できる地域食堂です。子どもから高齢者まで、利用者がただ単に食事をするだけでなく、交流も深められる居心地の良い場所です。利用者の健康を考え、栄養バランスの摂れた食事を低価格で提供しています。誰もがふらっと訪れることができるような居場所づくりを目指しています。
代表者	小田切 律子
活動場所	〒400-0034 甲府市宝2丁目14-11
活動日時	第2・第4土曜日（今後コロナの影響により変更あり）
対象	子どもからお年寄りまで対象
連絡先 （電話・FAX・メール） HP	080-1076-1188

— 子ども向けイベント開始の経緯 —

できないことは考えない。今できることを一つずつやる。甲府市で育った七沢さん。兼業農家に育ち、周辺には農地がたくさんあったという。しかし、時代とともに農地が住宅地になり変わり、里山風景がなくなり生活環境の変化に虚しさを抱えていた。そこで、伝統事業としての日本の誇れる職業を繋ぎ、日本古来の伝統文化の優雅さ、地域社会のよさを伝えたいと立ち上がった。

これから育っていく子どもたちに、幸せと感じられるような環境を提供することは大人としての責務だと感じ、子どもを対象とした活動を始めた。

— 後悔しないために —

子ども食堂やお祭りの物資調達は、七沢さんの交流の環から始まる。声をあげることで、賛同し、協力してくれる人がいる。一緒にやろうと言われることの嬉しさ、必要とされることの喜び。人と人のご縁の輪が広がり、それは活動を続けるモチベーションになっているという。

七沢さんは、「失敗を恐れると何もできなくなります。できないことを見つけてやらないことよりも、できることを見つけ行動することです。失敗は、何もしないことです。やらなかったときに後悔するぐらいなら、やっておけばいい。」と語る。

— 子どもたちへの思い —

代表の七沢さんは、子どもたちに向けた熱い思いを語ってくれた。「子どもは財産です。子どもたちには、やりたいことや夢を、自分で見つけてほしい。希望を見つけたら、一生懸命それに向けて目標設定をし、ステップを踏んでいく。自分の意志で決め、自己責任のとれる大人になること、それは大切です。無限の可能性があるみなさんに輝いていただきたい、そのサポートを致します。そしてここには、家でも学校でもない第3の居場所を作りたい。みんなに知ってもらい、愛してもらえる場所にしたい。」そう語る。



代表 七沢喜和さん



お祭りや収穫祭が行われる場所にある東屋

— Q&A —

Q：イベントの対象について教えてください。

A：お子さまが対象です。ご家族でお越しください。大人の方も大歓迎です。

Q：参加方法を教えてください。

A：ご予約は不要です。ご自由にお越しください。

Q：参加費はいくらですか？

A：参加費は無料です。無料のブースと有料のブースがあります。



▲イベント情報はこちら



2022年11月に行われた秋の収穫祭の様子

フリガナ	マホラ エステート カブシキガイシャ
団体名	Mafora estate株式会社
活動概要	不動産事業、古民家リノベーション事業、地域活性化事業を行う会社です。事業を立ち上げたきっかけは、グループスタッフの住居を確保したいという思いでした。山梨県外から就職するスタッフや事業者様に、安心した衣食住を提供することから始めました。一方、代表である七沢喜和さんのゆかりの地、山梨で伝統文化を継承する目的から、子どもたちの未来につながるイベントを開催しています。不定期で子ども食堂や体験教室、お祭りを開催しています。2022年5月には子ども食堂、7月には子ども体験教室、8月には夏祭り、11月には秋の収穫祭を開催しました。
代表取締役住所	七沢 喜和 〒400-0822 甲府市里吉4丁目3-12
連絡先（電話・FAX・メール）	050-1741-1729 055-244-2871 kiwa@neten.jp kiwa@mafora.estate



▲詳しくはこちら

高校生ボランティア団体 LINK

★活動紹介

— とことん遊び、とことん休む —

学生達は「子どもたちは全力で遊び、保護者は子育てのリフレッシュになるような時間にしたい」と言う。LINKではこの環境づくりのため、親と子を別々にヒアリングして、それを企画に役立てている。高校生で歳に近いこともあり、子どもたちは普段言えないような本音をたくさん話してくれる。その内容は少しわがままで子どもらしいものばかりだそうだ。



— 人を想える、元気で明るい子に —

「人を想える子になってほしい」「明るく元気に育ってほしい」この言葉を高校生から聞くと思わず驚いた。学業もありイベントの実施は簡単なことではないが、そのような強い想いをもち活動している。キャンプやイベントでは、時には子ども同士でけんかになってしまうこともある。それも経験で、このような場を通してお友達や歳の近いスタッフと関わることで、相手の気持ちを考えられるようなやさしい子どもに成長してほしいと願う。



— LINKのこれから —

今年の目標は月1ペースでイベントを開くことだ。先輩から受け継いだものを行いつつ、自分達も新しいことに挑戦したい。まだ設立して3年目。これからも子どもたちを取り巻く環境のため試行錯誤を繰り返す。このイベントに参加する子どもたちの成長もだが、子どもたち一人ひとりと向き合おうとしながら、イベントの企画から運営までを担う高校生たちの成長にも期待したい。



— Q&A —

Q：設立した経緯を教えてください。

A：設立したのは2020年で、コロナ禍でも子どもたちが勉強する機会を確保するために作られました。最初はLINK独自の漢字ドリルなどを作成していましたが、現在は季節ごとに、子どもたち向けのイベント企画を行なっています。

Q：どんなイベントを行なっていますか？

A：ハロウィーンやクリスマスなどの季節のイベントや、キャンプなどを行なっています。2か月に1回ほどの頻度で活動しており、参加の年齢制限はありません。また、NPO法人にじいろのわの協力のもと行なっているため、参加費は無料です。詳しくはInstagramをご確認ください。

Q：イベントにはどれくらいのお子さんが参加しているのですか？

A：キャンプだと50～60人、イベントだと30人ほどの子どもたちが集まります。イベントは時間帯や教室を分けるなど、コロナ対策もしながら開催しています。お子さんはもちろん、保護者の皆様もママ友をつくる場になります。

フ	リ	ガ	ナ	コウコウセイボランティアダンタイ リンク
団	体	名		高校生ボランティア団体 LINK
活	動	概	要	LINKは甲府市の高校生が中心となって活動しているボランティア団体です。子どもたち向けに、季節のイベントや学習の手助けを行なっています。主な対象は地域の母子家庭の子どもたちですが、高齢者や大学生を対象にした活動も行うなど、幅広く地域貢献のために活動しています。
活	動	場	所	主に甲府市役所西庁舎（甲府市宝2丁目8-19）
活	動	頻	度	月1回程度



▲詳しくはこちら

— 子どもはバランス —

柳澤さんは「子どもはバランス」だと言う。勉強ができてても体が追いついていなければ能力は十分に発揮できない。ヨーロッパや欧米では心技一体理念が強いそうだが、日本は乖離している。体のバランスが整えば、心のバランスも整う。体のバランスが重要なポジションを占めているのである。柳澤さんは主に山や自然を使った、大人も子どものびのびと楽しくバランスを整えられるような事業を行っている。



代表 柳澤仁さん

— 親が守ることは「可能性を狭めること」 —

柳澤さんは「今の子どもはプロテクトされすぎ。小さな事故はするべきだ。」と現代の親の過保護を指摘する。もちろん、過酷な山岳や危険が伴う場合には年齢制限や親の同意を求めたり、責任をとることがある場合には行政や民間とサポートしたりするなどの措置はとるが、基本的には「大人」「子ども」と区分を設けず、大人も子どもも視線を上げたり下げたりしながら楽しむものとしている。柳澤さんは、子どもにいろいろな経験をさせることで、子どもの「やりたいことの選択肢」を広げてあげたいと語る。そのために子どもたちには、勉強してチョイスする能力を培ってほしいと望む。そして親には、子どもを守りすぎずに多少のかすり傷を経験させてあげることも、子どもの将来にとって大事なことだと伝えたい。



— これからの挑戦 —

今後の展望を伺うと、現在新規事業に力を入れているという。新規事業ではサステイナブルなことに取り組んでいる。例えばフリースは、500年たっても自然に還らず、1回の洗濯で20~30万粒のマイクロプラスチックが出る。これを天然繊維の「ヤク」という牛の仲間の毛で代替したセーターなどをつくるプロジェクトを行っている。「ヤク」の毛は羊毛より暖かく保温力があるそうだ。このようにエルクから、環境を学ぶこともできる。SDGsが叫ばれる今、子どもにとっても勉強になる挑戦だ。



— Q&A —

Q: 子どもが気軽に参加できるイベントはありますか？

A: 甲府市の主催する子ども向けのイベントに協力するほか、毎週土曜朝6:30から緑ヶ丘スポーツ公園にて登山を楽しむイベントを行っています。費用もかかりませんし、予約も必要ないので、大人でもお子さんでも気軽に参加できます。また、子ども向けではありませんが、さまざまなイベントを開催しているので、興味のあるイベントに参加して、自然を体験することもできます。

Q: どのようなイベントを行っているのですか？

A: やまなしクリーンナップ登山や焚火イベント、自然で学ぶコーヒーの淹れ方講座や登山をしながら教わるカメラ講座、その他季節に合わせたイベントなど、さまざまなイベントを開催しています。きっと興味のあるイベントが見つかるはずです。参加費用はイベントによって異なります。詳しくは公式HPをご確認ください。

Q: 予約は必要ですか？

A: はい、必要です。メール、電話、エルク店頭で申し込みを受け付けています。

Q: イベントや登山ツアー以外にも何かやっていますか？

A: もともと登山用品店であるので、アウトドア商品を販売しています。イベントやツアー等に参加して新たな趣味を持ち深めることもできます。親子で楽しめるのでおすすめです。アウトドアスポーツに関わることは全て行っています。

フリガナ	ユウゲンガイシャ アウティングプロダクツエルク
団体名	有限会社アウティングプロダクツエルク
活動概要	エルクは登山用品店です。山梨だからこそ伝えられるフィールド情報や遊び方を発信・提案しています。ハイカーやキャンパー、クライマーなどをマニアックに楽しむ人から、自然やアウトドアを気軽に楽しみたい親子まで、アウトドアを愛するすべての人と繋がるアウトドアショップです。
代表	柳澤 仁
営業時間	11:00~20:00/日曜・祝日~19:00 定休日 毎週火曜日
住所	〒400-0047 甲府市徳行4丁目13-9
連絡先等 (電話・FAX・メール) HP	055-222-1991 elk@elkinc.co.jp



▲詳しくはこちら

リズムオブラブ

★活動紹介

－フェーズフリー「リズム」で力強い心・体づくり－

イキイキとはじけるような子どもたちの声が、活動場所である小瀬の武道館から聴こえてきた。シャトルラン形式で約20mの距離を向こう側で待っている親たちを目掛けて、大きな声をあげながら走っていく。「あそびのおけいこ」の真っ最中であった。一見すると子どもたちは楽しみながら遊んでいるだけのように見えるが、実は遊びを通して自らの身を守るために必要な「危険察知回避能力」を知らず知らずのうちに鍛えていたのである。また、子どもたちが運動した後はクールダウンとしてバランスボールなどを使ったリズムヨガを取り入れて、親たちのケアも行っている。

リズムオブラブ主宰の渡辺光美さんが活動を行うきっかけとなったのは、2001年に大阪府の小学校で8人の児童が犠牲となった痛ましい殺傷事件であった。「かけがえのない命は自分で守っていかねばならない、そのための心と体づくりが重要だ」と考え、リズム運動・リズム体操・リズム遊びを通じた「健康安全郷育プログラム」や啓発運動など様々な活動を「生涯学習」として社会・地域の一体化を目指した“郷育”を行っている。



－「2割のうれしいが突き動かす」－

子どもたちが成長する姿を近くで見ることができ、さらに「この活動のおかげで子どもたちが自分の命を守る動きをすることができました」といった反応は何よりうれしいと語っていた。

活動の継続には「覚悟とコツコツ」が重要だ、と語る光美さん。実は苦境に立たされて何度もこの活動をやめてしまいたいと思ったことがあるそうだ。そんなときに限って電話が鳴り、周辺が活動をやめることができないような状況を自然と形成していたと笑いながら、「8割辛くても、2割のうれしいが突き動かしている。命を守れたという参加者からの声があるから、この活動を続けることができた」と笑顔で語っている様子が印象的だった。

これから参加を考えている人に対しては「知らない人には知ってほしい、とにかく来てください！協働のパートナーとして、一緒に協創しませんか？」と話していた。また、活動の継続にあたり、学生のボランティアも増やしていきたいと新たなフェーズへと歩みを進めていた。

－Q&A－

Q：どんな活動を行っていますか？

A：自分の命は自分で守ることを目指した防犯・防災・交通安全のフェーズフリーな「健康安全郷育プログラム」を県内27市町村の地域に出向いてお届けする活動をしています。

Q：活動を通して、地域にはどのようになってほしいですか？

A：自分と大切な人の命を守れる県民が増えて欲しいです。その結果、元気で明るく安全なふるさと山梨創りにつながると信じています。

Q：参加は自由ですか？

A：事前に申し込みが必要です。見学も可能なので詳しくはホームページまで。



フリガナ	リズムオブラブ
団体名	リズムオブラブ
活動概要	リズムオブラブは2009年に設立され、山梨県全体で「健康安全郷育プログラム」を展開し、リズム運動・リズム体操・リズム遊びを通して、「いつも」と「もしも」の壁を取り払う「フェーズフリー」の周知、心と体の健康安全をサポートしている団体です。未就園児を対象とした「あそびのおけいこ」や、何歳でも参加可能な「ミットエクササイズ」の他、啓発動画の作成など、活動の幅は多岐にわたっています。
代表住所	渡辺 光美 甲府市国母1丁目10-10 403
活動場所	主に小瀬スポーツ公園 武道館
活動日時	火曜日 19:00~20:30 (ミッドパーカッションR) 水曜日 10:30~12:00 (あそびのおけいこ)
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	080-2258-2440 (事務局)



▲詳しくはこちら

縁の下の力持ち

★活動紹介

— 老若男女問わず、みんなが生き生きと過ごせる社会へ —

縁の下の力持ちは、子どもからお年寄りまで、年齢、障がい、国籍、性別関係なく誰もが生き生きと過ごせる環境を目指し、「居場所」として誰でも利用できる空間を用意している。実際に「LLC縁の下の力持ち」と「蓬沢いきいきサロン」の協働により世代を超えた新たな居場所づくりができています。子どもとお年寄りとの交流で、お互い刺激し合いコミュニケーションや運動能力の向上、学習支援だけでなく、うつ予防や介護予防などお互いの世代がプラスになる相乗効果が生み出されている。

代表の猪狩さんは、子どもとお年寄りを同じ空間でサロンを開くことについて、「子どももお年寄りも同じ人間であり、昔の大家族のような交流をしてほしい。また、お年寄りの方には、「褒める」ことは嬉しいことであるということ、交流を通して知ってほしい。子どもからお年寄りへ、お年寄りから子どもへ、互いに教え合うことが良い刺激になると思う。」とおっしゃっていた。

参加された方たちは、いきいきしていき、寂しさやネガティブな感情から、みるみる元気になり、お年寄りは子どもたちを優しく受け入れ、世代を超えた友達になっているようだ。また、「協働」の実現により、防災や災害・犯罪予防などにも貢献し、地域活性化を図っている。

『自らが、自分を認められるような環境を作りたい。お年寄りも子どもwin-winであり、どの世代でも交流できる居場所として気軽に利用してほしい。』

という思いを持ち、猪狩さんは活動していっちゃった。
ぜひ一度、お子様とご一緒に参加してみたいはいかがでしょうか。

— Q&A —

Q：何をしている団体なのですか？

A：マッチングサイト『チャレサポ』の運営、出張体操教室・親子遊び教室、多世代交流イベントの企画、学習支援、子どもの学習にまつわる教室やイベント開催、子どもお悩み相談、高齢者疑似体験などを行っています。

Q：主な活動場所はどこですか？

A：依頼があればどこへでも伺います。甲府市子ども応援フェスタにブース出展したり、出張で親子遊び教室をしたりしています。現在、主に「蓬沢いきいきサロン」の依頼を受けて子どもとお年寄りの多世代交流のイベントを行っています。

Q：「蓬沢いきいきサロン」って何ですか？

A：蓬沢公民館で週4日以上活動しているボランティア団体です。

Q：だれでも参加できますか？

A：「蓬沢いきいきサロン」はどなた様でもご参加いただけます。サロンメンバーのシニアの方々が皆さんとてもお優しく人見知りの子どものも安心して参加できます。「LLC縁の下の力持ち」と「蓬沢いきいきサロン」のコラボ活動の様子は右記のページに記載しています。

Q：何人ぐらい参加しているのですか？

A：「蓬沢いきいきサロン」の一日平均参加者は10名程度ですが、出張先、依頼先によって異なります。



フリガナ	ゴウドウガイシャ エルエルシー エンノシタノチカラモチ
団体名	合同会社LLC 縁の下の力持ち
活動概要	個人で始められた「縁の下の力持ち」は、お年寄りに向けた健康づくりの指導、子どもとの交流の提供、イベントの企画をお手伝いする形で協力しています。お年寄りとの交流によって、「誰もが生き生きと過ごせる社会の実現」を目指します！
代表者	猪狩 裕太
活動場所	主に蓬沢公民館（甲府市蓬沢1丁目12-5）
活動日時	月・火・木・金 13:30~15:30
対象	誰でも可
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	090-9309-5301



▲詳しくはこちら

— 笑顔あふれるコミュニティを —

山梨県にはバスケットボールのBリーグのアカデミーや子どもたちのためのクラブチームがなく、バスケットボールを気軽に始めることができる環境づくりをしたいという理由から、設立に至った。バスケットボールやフライングディスクを中心としたスポーツ活動の普及、振興を通して、老若男女問わず、幅広い人たちが、スポーツを通じて交流し、笑顔あふれるコミュニティを形成することが、代表者の澤田さんの願いだ。たくましく成長していく子どもたちを見られることは感慨深く、バスケットボールという入口で始めた活動が徐々に広がりを見せ、賛同者や仲間が増え、組織として大きな成長ができたことに喜びを感じているという。

— コロナ禍の活動 —

B☆STARS発足から2年が経った頃、コロナが流行し、体育館での活動制限がかなり厳しかったため、以前から不定期に開催していたフライングディスクの活動頻度を増やした。バスケットボールができなかった数か月間、フライングディスクを毎日やっている時期もあり、全国大会に出場したり、アンダーカテゴリーの日本代表に参加する選手も出てきた。コロナ対策の影響で、フライングディスクの楽しさを知る子どもたちが増えた。

— より地域に根差したスクールへ —

幼児にも目を向けた活動、審判員や指導者の育成、3×3のイベント事業を今後の展開としている。また、シーズン毎に違うスポーツや文化活動を体験し、一つの競技に専念する前にさまざまな経験を積み、マルチスポーツ教室の開催を他の団体と連携して行ってみたいと澤田さんは考えている。スポーツを文化として人々の生活に定着させるため、より地域に根差した活動や中学生を対象としたスポーツ活動を充実させていく。



— Q&A —

Q：どんな活動をしていますか？

A：バスケットボールのスクールは、キッズ（小学生）は火曜日～金曜日の夕方と土曜日午前中に、ジュニア（中学生）は火曜日～土曜日の夜に、甲府市内の体育館で練習しています。フライングディスクのスクールは、旧穴切小学校のグラウンドで、毎週土曜日の午前に活動しています。現在、小学1～6年生が男女約100名、中学1～3年生が男女約25名所属しています。

Q：どんな良さがありますか？

A：週に何回参加しても料金は同じなので、他の習い事や予定に合わせて日を選ぶことができます。B☆STARSは選手登録を行わないため、ミニバスなどの他のチームにも所属している選手が多く、他のチームの選手との交流を深めながら、スキルアップすることができます。また、保護者の当番などは一切ないので、お子さんの送り迎えをしていただければ、スクールでコーチングしてもらえます。

Q：体験・見学してみたいです！どうしたらいいですか？

A：ホームページから、体験・見学の申し込みフォームを送り、担当者の返信で日程・場所の確認、指定日された日に、動ける服装で、体育館履きを持って来てください。

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジン バスケットボールスターズ
団体名	特定非営利活動法人 バスケットボールスターズ
活動概要	B☆STARSは、小中学生の笑顔がキラキラ輝く総合型地域スポーツクラブです！“More Than Just a Player. Let's Be a Star!”（ただの選手ではなく、星のように輝ける人になろう！）をスローガンを掲げ、山梨県内でバスケットボール、フライングディスクの普及・推進活動に取り組んでいます。
代表者	澤田 昌宏
活動場所	主に甲府市の体育館またはグラウンド
活動日時	<p>【バスケットボール】</p> <p>小1～小6 火～金 17：20～18：50 土 9：00～10：30</p> <p>小6～中3 火～金 19：30～21：00 土（女子）18：00～19：30 （男子）19：30～21：00</p> <p>【フライングディスク】</p> <p>小・中学生 土 10：30～12：00</p>
連絡先（電話・FAX・メール）HP	050-8002-5179（平日、土曜日9：00～17：00） basketballstars2018@gmail.com



▲詳しくはこちら

— クラシックバレエとは? —

クラシックバレエは敷居が高いと思われがちだが、だれでもできるダンスである。日本では国立の学校がなく、個人教室で学ぶことができる。世界や国内で活躍するプロダンサーになれる人はごくわずかだが、挨拶の作法や喧嘩した際の仲直りの仕方といった社会的成長や、姿勢がよくなる、体幹が強くなるといった健康促進にもつながる。



— 目的 —

本学園の目的は、ダンサーを育てることももちろんだが、健康促進や社会的成長を通じた人としての成長に重きを置いている。バレエの基礎をしっかりと身に付けるには子どもで7～8年、大人では10年ちょっとかかるといわれ、バレエの基礎はほかのスポーツや生活でも役に立つ。バレエでは体幹や身体の柔軟性、音楽に合わせるリズムが身に付けられる。これがバレエの強みである。また、バレエは集団で行うため、「人に見られる経験」や「失敗する怖さ」といった社会に出たら直面する要素が含まれている。それを仲間と乗り越えることで人として一歩成長することができる。『心身ともに健康になり、社会的に成長できる。それこそがバレエで学べること。』と成澤さんは語った。

— 教室の雰囲気 —

年に1回の合宿や年に数回の発表会を通し、周りの仲間と一緒に仲良く練習に励んでいる。『この生徒はとても仲が良く、学校外の仲間として一緒に頑張っている。』とおっしゃった。

— コロナ禍では —

教室での対面レッスンができない時は、HPでの動画レッスンや、オンラインレッスンを行い、工夫しながらバレエのレッスンを実施。参加者の中には、子どもだけでなく、保護者の方と一緒にレッスンに参加している方もいた。



— 最後に —

バレエは健康維持や身体能力向上の要素だけでなく、「人と協力すること」や「見られること」から得られる社会的成長を促進することができる。あなたやお子さんがお持ちの夢の補助として学べる要素が数多くある。

～一緒に夢を叶えませんか？お手伝いします。～

— Q&A —

Q：バレエって誰でもできるのですか？

A：高貴のような存在だと思われがちですが、小さい子から大人まで誰でもできます！

Q：プロにはなれますか？

A：プロになれる人はごくわずかですが、全力で支援します！
なれるかなれないかは、受講生次第です。

Q：どれぐらいの生徒さんがいますか？

A：現在全体で80人弱の生徒さんがいます。小学校入学前、低学年、高学年、中学生といったように年代別のクラスがあります。



フ	リ	ガ	ナ	ワカオバレエガクエン
団	体	名		若尾バレエ学園
活	動	概	要	クラシックバレエを通し、夢を育て、可能性を広げるお手伝いをしています。身体能力向上だけでなく、心の成長や、社会的な常識等を学ぶことで、表現豊かな真のダンス教育をしています。
活	動	場	所	〒400-0858 甲府市相生1丁目11-19
活	動	日	時	クラスによって、日時・時間が異なるため、HPにてご確認ください。
人			数	1クラス15人程度まで
連	絡	先		055-226-2388
(電話・FAX・メール)				055-237-8097
H	P		等	



▲詳しくはこちら

山梨の子どもたちを支援する会 ル・ブーケ

★活動紹介

— 「ル・ブーケ」に込められた想い —

「ル・ブーケ」とは、フランス語で花束を意味する。一人一人が1本ずつお花を持ち寄り、それを束ねると素敵なお花束になる。一人一人が他者を思いやる気持ちを少しずつ持ち寄り、花束のように束ねてカタチにして、子どもたちへの支援を無理なく続けていきたい、そういう想いが込められている。

— 自立する子どもたちを支援 —

児童養護施設で生活する子どもは、原則18歳になると退所して自立した生活を送らなければならない。ル・ブーケでは、そんな子どもたちの自立をサポートすることに特に力を入れている。社会で役に立つマナーセミナーや、社会人としてTPOに合わせたメイクレッスンなど、施設ではなかなか学べないことを体験する機会を設けている。また、自立のための生活品支援も行っている。当初は、必要な生活品を聞き、ル・ブーケで購入してお届けしていたそうだが、2019年からは1人1万円を支援し、必要な物を自分で購入し、購入したものの写真と、購入理由、金額を報告書として提出してもらうようにしている。「必要な物を自分で探し、報告書を書いて提出する、という作業も社会経験のひとつになる。」と宮沢さんはおっしゃっていた。そして、退所して1人暮らしをしている子どもたちに、生活が軌道に乗るまでは挫折しないよう、5月頃に1か月分の食品類を支援している。施設にお届けすることで、子どもたちが施設に行き、職員さんと会う機会にもなるようにしているそうだ。

— 自立を目指す子どもたちに支援の手を差し伸べませんか —

ル・ブーケでは、2022年から新たに「ル・ブーケ自立応援基金」の設立や「子どもの未来応援基金」の助成金決定など、支援金の幅を広げている。衣食住が与えられていた施設から、頼る親族もなく自立していくことは、経済的にも精神的にも厳しい現実と直面する。子どもたちがいきいきと生活していけるよう、一緒に応援しませんか？

— Q&A —

Q：具体的にどのような活動をしていますか？

A：主な活動は6つあります。

- (1)社会に出て困らないように、言葉使いや食事のマナー、冠婚葬祭、お金のやりくり、税金や保険の仕組み等、様々なセミナーの開催や資料の提供
- (2)新生活の準備のための準備金の支給（2月）
- (3)卒園後の食品支援（5月）
- (4)夏休みの工作教室（施設に在籍している子対象）
- (5)里親制度啓発キャンペーンの手伝い（10月）
- (6)乳児院「ひまわり」そだちばまつりへのお菓子寄付（11月）

Q：協力したいのですが、どうやって支援したら良いですか？

A：ル・ブーケの支援活動は、会員の会費と一般の方からのご寄付に支えられています。

正会員 月2,000円（別途入会金1万円）：会費支援＋活動参加あり

準会員 月1,000円 / ワンコインサポーター 月500円：会費支援のみ

Q：参加方法や協力方法を教えてください。

A：ホームページの「お問い合わせ」より、ご連絡お待ちしております。



フリガナ	ヤマナシノコドモヲラシエンズルカイ ル・ブーケ
団体名	山梨の子どもたちを支援する会 ル・ブーケ
活動概要	ル・ブーケの活動目的は、児童養護施設から自立する子どもたちの支援です。ル・ブーケでは、児童養護施設から高校卒業と同時にたった1人で自立しなければならない子どもたちが、社会生活にスムーズに慣れるように、食事のマナーや言葉遣い等のセミナーの開催や資料の提供をしています。
代表住所	宮沢 美穂 〒400-0034 甲府市宝2丁目15-6
連絡先 (電話・FAX・メール) HP	090-4727-2330



▲詳しくはこちら